

豊田市民の市政参加を促す広報広聴アプリの構築

大村宗士朗[†] 佐藤太一[†] 内藤克洋[†] 水野忠則[†] 菱田隆彰[†]

愛知工業大学[†]

1. はじめに

豊田市では幾つかの広聴広報の施策が存在するが、若い世代の生活スタイルに合っていないことが問題になっている。今後豊田市民に対して広く情報発信や情報収集を行うための新たな広報・広聴の取り組みが必要である。我々は若い世代の市民がよく利用するツールであるスマートフォンに着目し、市と市民が相互に情報伝達を行える仕組みを ITC によって実現できないかと考えた。

本研究では、豊田市と協議を行いながら、市の持つ情報から市民が利用する傾向の高い情報の抽出を行い、それらを簡潔に利用できるスマートフォンアプリの構築を行う。また意見収集に関しては、スマートフォンから気軽に意見の収集が可能なアンケートシステムを実現する。

2. 豊田市の抱えている問題点

現在豊田市では、市の行っている施策の周知が思うように進んでいないという現状がある。これは現状の情報伝達方法が市民に対して適切な手段となっていない点があるためである。

我々が所属する愛知工業大学は豊田市と包括的連携協定を結び、お互いに協力して課題に取り組んでいる。本研究はその連携の下、地域の課題を研究対象として、ITC を活用した課題解決を目指してきた。

豊田市の現状の施策の問題点を以下に示す。

まず、広報手段については、

(1) 情報の入手手段が限定的である

(2) 情報の検索手段が煩雑である

という点があり、また広聴手段については、

(3) 意見を述べるためのハードルが高い

(4) 幅の広い世代の意見収集が行えていない

という点が挙げられる。広報手段については、Webサイトを中心とした比較的古いシステムであ

ることが、広聴手段については、意見を発するまでの手続きに関する手間が大きいことが要因であると思われる。これらの問題は現在行われている施策が一般的な情報収集手段とうまく連携しているとは言いがたいものとなっていることから生じていると考えられる。

3. 豊田市の問題点に対する解決方法

広報広聴に関する効果的な手法の検討は、多くの地方自治体で課題となっている。その手法の一つとして、中島ら[1]は観光客に対して情報提供を行うために位置情報付きツイートを利用した観光ルートの提案を行った。この手法は、観光客を対象としており、その地域の特徴を効率良く捉えてもらうための方法であり、生活の場としての地域に関する細々した情報を伝えるには向かない。

地域住民に対しての情報発信という点においては、札幌市ごみ分別アプリ[2]があげられる。地域によって取り扱いの異なるゴミの分別・収集に着目し、普及目覚ましいスマートフォンを活用して広く周知をする方法は現在の住民の生活スタイルにあった有効な方法であると思われる。他にもよく似たシステムは存在するが、自治体の持つ情報を周知することを目的としており、住民からの意見を求める方法は備わっていない。

我々は豊田市と協力しつつ、2節に示した問題に対して、豊田市民向けの広報施策となるスマートフォンアプリ「豊田市ポータルアプリ」の開発を行い、地域住民への情報発信手段の提案を行った[3]。[3]において我々は広報手段を中心として取り扱い、市民の利用頻度の高い情報をスマートフォンによって提供するシステムの提案を行っており、広聴機能については、今後の課題となっていた。

本稿では[3]で構築した豊田市ポータルアプリに対し、広聴機能としてアンケート機能を追加し、既存の手段では手に届きにくい市民層に対して広く情報発信や情報収集を行うシステムの構築を行う。

既存のシステムにアンケート機能を追加する

A public relations and public hearing application of stimulating the Toyota citizens to participate in the municipal administration

Shuujirou Ohmura[†], Taichi Sato[†], Katsuhiko Naito[†], Tadanori Mizuno[†], Takaaki Hishida[†],

[†]Aichi Institute of Technology

ことで、利用者に対し利用頻度の高い情報へのアクセスをきっかけに、アンケートへ回答を促し、市と市民の双方のコミュニケーションを活性化させることが可能となる。システムの利用形態を表した図を図1に示す。

4. システム概要

[3]において豊田市ポータルアプリに実装を行った広報機能を以下に示す。

- 広報とよた閲覧
- ごみ情報閲覧
 - ごみ回収日閲覧
 - リサイクルステーション情報閲覧
- イベント情報閲覧
- 救急診療情報閲覧

本稿では、上記の機能に加え広聴機能として、アンケートシステムの実装を行う。アンケートシステムの構成を図2に示す。アンケートの蓄積するデータベースを中心に、管理用のWebアプリケーション、豊田市ポータルアプリとのデータ送受信のWeb API 群から構成されている。

アンケートはWebアプリケーションから作成、公開期間の設定等の管理を行う。アンケートの管理については、自治体職員の利用を考慮し、容易に操作の行えるシステムの検討を行った。Excel ファイルのテンプレートを用いてアンケートを作成し、Webアプリケーションから登録を行う。登録の行われたアンケートは、公開期間等の設定に従い豊田市ポータルアプリに送信される。また、Webアプリ上でアンケート公開期間の変更、回答の行われた設問の回答状況の確認を行うことができる。アンケートの回答状況確認画面を図3に示す。

5. まとめ

本研究では、豊田市と連携し協議を行いながら、市と市民との双方向の情報交換を実現するスマートフォンアプリ「豊田市ポータルアプリ」の構築を行った。これまでに構築した広報機能に加え、広聴機能としてスマートフォンから気軽に意見の収集が可能なアンケートシステムを実装した。広報機能として豊田市民にとって日常的に利用頻度の高い情報を提供することで、アンケートシステムの利用者を拡大し、幅広い層の市民からの意見徴収を可能とする。

今後は実際の利用者の動向等の調査を行う必要がある。構築したアプリケーションを実際に利用してもらい、市民の意識に関する評価を行いたいと考えている。アンケート機能については、通知のタイミング、回数等の状況によって

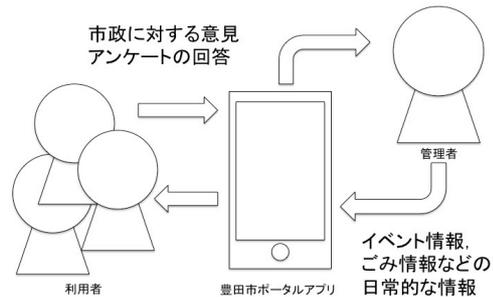


図1 豊田市ポータルアプリの利用形態

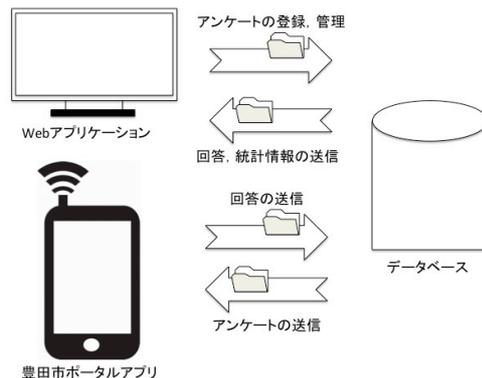


図2 アンケートシステム構成

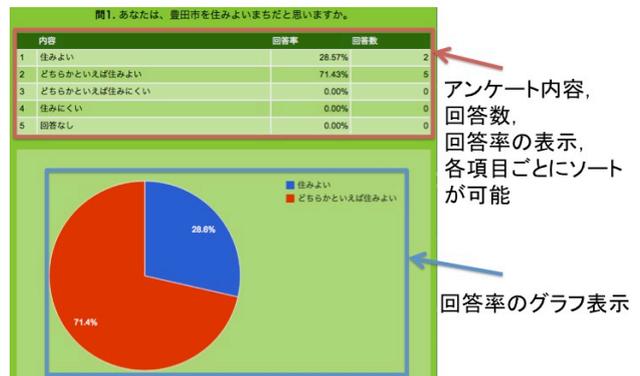


図3 アンケート回答状況確認画面

より多くのアンケートの聴取を行うための手法について検討を行う予定である。

参考文献

[1] 中嶋 勇人, 新妻 弘崇, 太田 学, 位置情報付きツイートを利用した観光ルート推薦, 情報処理学会データベース・システム研究会報告, 2013-DBS-158(28), pp. 1-6, 2013.

[2] 札幌市ごみ分別アプリ
 (<http://www.city.sapporo.jp/seiso/gomiappli.html>)
 (参照 2014 12/26)

[3] 大村宗士朗, 佐藤太一, 内藤克浩, 水野忠則, 菱田隆彰. 豊田市広聴広報アプリケーションの構築, 情報学ワークショップ 2014 (WiNF2014), pp. 56-60, 2014.